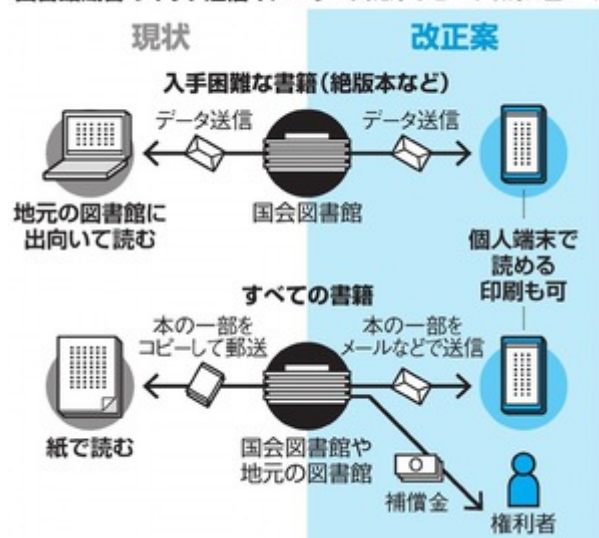


(Media Times) 図書館電子化、コロナ拍車 休館で研究者悲鳴「文献収集できない」

有料会員記事

2020年11月7日 5時00分

図書館蔵書のネット送信イメージ 文化庁などへの取材に基づく



図書館蔵書のネット送信イメージ

図書館による書籍データのネット送信はどこまで認められるべきなのか——。文化庁が進める著作権法の改正をめぐり、出版メディアからは「反発」が出ている。ただ、コロナ禍で社会のデジタル化が加速するなか、図書館の電子化の流れは止まりそうにない。(丸山ひかり、滝沢文那、赤田康和)▼1面参照

コロナ禍の下、図書館の休館は全国で相次いだ。国内最大級の蔵書数を誇る国立国会図書館(東京)も、3月上旬から3カ月にわたって来館サービスを取りやめ、その後も抽選予約制など入館制限を続けている。

大きな影響を受けたのは研究者たちだった。「卒業論文や修士論文に必要な文献の収集ができない」。痛切な声が上がった。

日本学術振興会特別研究員の前田麦穂さん(29)らが4月、全国の大学院生や教員ら約2500人にアンケートしたところ、研究環境に「影響がある」と答えた人は95%近くに達した。電子データにした資料の公開範囲を広げるよう求める人も76%に上った。

前田さんらはアンケート結果をネットで公表し、文化庁にも要望書を提出。国会図書館による絶版本の送信先の拡大などを通じた研究者への支援を訴えた。

国会図書館はコロナ禍以前から資料の電子データ化を進めてきた。だが、ネット経由で閲覧できる資料は、著作権が切れた55万点に限られる。絶版本など150万点の電子データ化も済んでいるが、データ送信は著作権法によって図書館端末までしか許されない。

政府の知的財産戦略本部は5月にまとめた「知的財産推進計画」で、図書館をめぐる著作権法のルールをより利用者に便利なものにするよう求めた。研究者らの訴えを受けた文化庁も8月から文化審

議会の作業部会で議論を始めた。

電子データ化された書籍をネットで閲覧できる「電子図書館構想」は、米グーグルの「全文検索サービス」が波紋を呼んだ2009年ごろから検討が重ねられてきた。だが権利者側の反対は根強く、構想は進まなかった。そこへ降りかかったコロナ禍。「図書館の蔵書のネット送信の必要性は権利者側にも理解されている」。文化庁関係者はそう話す。

■「海賊版拡散、恐れ」「少しでも身近に」揺れる出版界

出版社はどう受け止めているのか。出版科学研究所のまとめでは、電子書籍市場は今年上半期、去年の同時期から3割増の1762億円と急成長している。ある大手出版社幹部は「電子書籍に力を入れている中、図書館による送信は民業を圧迫する。海賊版が拡散する恐れが高まる」と文化庁の方針に強く反発する。

法改正が実現すれば、書店で売られている本でも、単行本なら全体の半分程度までをスマートフォンなどで読めるようになる。「夫が本の前半を、妻が本の後半を取り寄せれば、1冊丸ごと読めてしまう」

一方、別の出版社の社長は「紙の本の読者が減っている中、このままでは先細り。少しでも読書が身近になったほうがいい」と前向きだ。「サンプルのように一部を読んでもらった上で、面白いと思ったら買ってくれるはずだ」

流通している本のデータ送信について、文化庁は著作権者の利益を害さない範囲での利用にとどめるほか、権利者への補償金の支払いを図書館の設置者に義務づける方針だ。

だが補償金の金額や補償範囲に関して、出版界からは懸念の声が出ている。日本書籍出版協会の樋口清一専務理事は「損失を十分に補える金額にするべきだ」と指摘。補償範囲について、著者と電子出版の契約を結んでいない出版社も受け取れるようにしてほしい、と訴える。また、作家でつくる日本文芸家協会の担当者も文化審議会のヒアリングで「図書館に行くことが困難な利用者に限って送信するべきだ」と慎重な対応を求めた。

出版界との綱引きは法案提出まで続きそうだ。「我々の利益が大きく損なわれるとなれば、部会の段階で法案をつぶすよう自民党に働きかける」と大手出版社幹部は言う。

国会図書館で電子図書館構想にかかわった東京大の柳与志夫特任教授は「電子図書館の流れはもはや止めることはできない。ただ、流通している本のデータ送信は著者や出版社への影響が大きく、補償金の額を高め設定するなど権利者に配慮して進める必要がある」と話している。

*

Media Times(メディアタイムズ)

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.